



## 発達支援の5領域とイーホCラボ/レコルダCラボの支援プログラム

### 発達支援

障害のある子どもが、将来、日常生活や社会生活を円滑に営めるようにする為、子どもの発達に関わる次の5つの領域すべてを含む総合的な支援を行います。

健康・生活	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px 5px; display: inline-block;">ねらい</div> a 健康状態の維持・改善    b 生活のリズムや生活習慣の形成 c 基本的な生活スキルの獲得
	<b>プログラム</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 集団生活スキル（学校生活に必要な指示やルール理解、学校生活の流れに慣れる等）</li> <li>・ 危険予知トレーニング・2 択展開カード『このあとどうなる？』（日常にある危険をあらかじめ学び、事前に予測して防止できるよう訓練する）</li> <li>・ お箸で豆つかみ、蝶々結び等、基本的な生活スキル</li> <li>・ 「今日のタスクシート」やイラストによる「スケジュール」等、時間の構造化を用いた支援</li> <li>・ ストレス軽減、ストレス耐性、コーピングスキル、アンガーマネジメントの取り組み</li> </ul>
運動・感覚	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px 5px; display: inline-block;">ねらい</div> a 姿勢と運動・動作の向上    b 姿勢と運動・動作の補助的手段の活用 c 保有する感覚の総合的な活用
	<b>プログラム</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ コイン入れ、ペグさしなど手指の巧緻性運動    ・ 工作</li> <li>・ かるた、狩る歌等カードゲーム、あわせてことば等視覚・聴覚・触覚を活用したゲーム</li> <li>・ ビジョントレーニング    ・ 追従性眼球運動、跳躍性眼球運動、視覚探索等の眼球運動</li> <li>・ 視空間認識能力を高める遊び（図や表、漢字等を視覚で覚える力）</li> <li>・ 言語的短期記憶を鍛える遊び（聞いた音や言葉を覚える力）</li> <li>・ 視覚で捉えた単純な情報を素早く処理する力をつけるプリント課題</li> <li>・ 恐怖、不安、聴覚過敏などの感覚過敏に対する取り組み</li> </ul>
認知・行動	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px 5px; display: inline-block;">ねらい</div> a 認知の発達と行動の習得    b 空間・時間、数等の概念形成の習得 c 対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得
	<b>プログラム</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 言語性ワーキングメモリの向上を図る療育プログラム（聞いた情報を頭の中にとどめておいて、その情報を操作・加工する力）</li> <li>・ 視空間性ワーキングメモリの向上を図る療育プログラム</li> <li>・ 空間認知、平面認知のトレーニング（目で見えないところを推測する力や立体構成を操作・加工する力）</li> <li>・ 規則性や因果関係の理解を深めるワークや遊び（原因と結果の因果関係や条件と結果の整合性を考える力）</li> <li>・ 音の選択的注意トレーニング（不要な周囲の音と必要な音とを区別する力）</li> <li>・ 学校の学習内容の理解を深めるための、具体物や教具を使った学習</li> <li>・ 時計やお金の基本的知識を習得するための課題</li> <li>・ 空間認知・他者視点・試行錯誤・論理・数的処理を、網羅的に楽しみながら学べるタブレット学習</li> <li>・ 絵や図、グラフ等を観察する力、分析する力を育む課題（絵や図、グラフなど文字以外のものから情報を読み取る力）</li> <li>・ ひとつの事実を根拠として他の事象の真偽を考える思考法（演繹法）の体験的学習</li> <li>・ 「推論すること」への困難さに対応する支援プログラム</li> <li>・ 「計算すること」への困難さに対応する支援プログラム</li> <li>・ 「書くこと」への困難さに対応する支援プログラム</li> <li>・ 「話すこと」への困難さに対応する支援プログラム</li> <li>・ 「読むこと」への困難さに対応する支援プログラム</li> <li>・ メタ認知、自己モニタリング機能を向上させる取り組み</li> </ul>
言語・コミュニケーション	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px 5px; display: inline-block;">ねらい</div> a 言語の形成と活用    b 言語の受容及び表出    c コミュニケーションの基礎的能力の向上 d コミュニケーション手段の選択と活用
	<b>プログラム</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ことばをまとめて読む力をつけ、読んだことばがイメージできるようになるための療育プログラム</li> <li>・ ひらがな、カタカナ、漢字の読み書き能力向上のための課題</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意思や体験を表出したり、作文にしたりする力を伸ばす課題</li> </ul>
言語・コミュニケーション(つづき)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章を読んで、内容を理解したり、行間を読んだりする力をつけるためのプログラム</li> <li>・話の内容や詳細、前後関係や要旨に着目する力をつける絵本をつかった読解プログラム</li> <li>・語彙やカテゴリを増やす療育プログラム</li> <li>・助詞や接続詞、相対表現などことばの理解を深める課題</li> <li>・ディベート等自身の意見を表出、表現する活動</li> <li>・表出の難しい児の場合、絵カードや筆談によるコミュニケーションの実施</li> <li>・会話や話ことばの理解力を育てる療育プログラム</li> <li>・ことばや文章のイメージをふくらませ、文脈をつかんだり気持ちを読みとったりする力を育てる課題</li> <li>・お話の構成や展開を理解し、筋道を立てて説明をする力を育てる課題</li> <li>・音読活動（スラスラ読む力、文章の主語-述語関係を理解する力）</li> <li>・お話の登場人物の感情や状況を言語化する取り組み</li> <li>・読んだお話を頭の中でイメージする力を育てるプログラム</li> <li>・相手に伝わる表現方法を身につけるための支援（客観的な視点による表現方法）</li> <li>・主張に対する根拠や「理由づけ」の大切さに気付く活動</li> <li>・人前で話す抵抗感を減らし、話すことへの安心感を培うための支援</li> <li>・人前で「できた」という経験を積み、自信と自己肯定感を育てるための支援</li> <li>・語彙を増やして自分のことばで考えを表現する力を伸ばす取り組み</li> <li>・ことばを通して伝え合う活動</li> </ul>
	<p><b>ねらい</b> a 他者との関わり（人間関係）の形成 b 自己の理解と行動の調整 c 仲間づくりと集団への参加</p>
人間関係・社会性	<p><b>プログラム</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ソーシャルスキルトレーニング</li> <li>・自他の理解を深めるグループワーク</li> <li>・他者視点獲得のためのトレーニング</li> <li>・暗黙の了解、行間を読む、状況を読むワーク課題</li> <li>・会話の流れを知る課題</li> <li>・大人との信頼関係の構築、子ども同士の信頼関係の構築する力をつけるプログラム</li> <li>・感情コントロールのスキルを身につけるためのプログラム</li> <li>・他児との意見調整を目的としたペアワーク、グループワーク</li> <li>・対人マナースキルを身につけるためのプログラム</li> <li>・集団への参加（活動、遊び、ゲーム等）</li> <li>・あそびやゲームのルールを理解すること守ることをねらいとした活動</li> <li>・話を最後まで聞き続ける集中力や大切なところを聞き分ける注意力を育てる課題</li> <li>・相手の立場に立って、どう聞こえるのか（他者視点）を知り、自分も相手も大切に表現を学ぶ（アサーション）</li> <li>・抽象的表現を理解するためのトレーニング（類語や様々な言い回しなどにふれながら相手の言いたいことを推測する力）</li> <li>・協力&amp;協働するスキル</li> </ul>

### 家族支援

障害のある子どもを育てる家族に対して、障害の特性に配慮し、子どもの「育ち」や「暮らし」を安定させることを基本に、丁寧な「家族支援」を行うことが必要であるため、次の支援を行います。

	<p><b>ねらい</b> ア家族からの相談に対する適切な助言やアタッチメント形成 イ家庭の子育て環境の整備 ウ関係者・関係機関との連携による支援</p>
家族支援	<p><b>プログラム</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもに関する情報の提供（月一回、1カ月間の療育の様子を報告）</li> <li>・療育の様子を観察してもらい、助言や療育内容について共有する（子育てサポート）</li> <li>・相談支援専門員との個別支援計画の調整（個別支援計画の交付と意見聴取）</li> <li>・ペアレントトレーニングや保護者交流会などを実施</li> <li>・事業所内で対面や居宅への訪問による相談援助支援</li> </ul>

